

きのうの勝者がきょうの敗者

アメリカを買う

危機後を見すえる

米経済の回復

「景気後退は年半ばに終わる」

ゴールドマン・サックス

ルービニ教授「悪夢のシナリオ」

FRBは新たなバブルを生むのか

それでも世界はドル離れできない

米株投資に挑戦

一喜一憂しない投資戦略

アブダビ、みずほの勝算

マネーどこへ

原油、穀物、金、新興国、排出権市場

2兆円が200億円に

ディスカウントされる
米資産

BEAR
STEARNS



危機 チャンス WALL

「アメリカを買う」が
意味すること

竹中 正治

国際通貨研究所経済調査部長・チーフエコノミスト

米国経済の重症度

2006年1月までの在任中、グリーンズパン前FRB（米連邦準備制度理事会）議長は、「米国住宅市場はバブルではないか？」との問いに対して、「バブルではなく、froths（小さい泡粒群）である」と答えていた。しかし昨年のサブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅融資）危機の表面化以降、米国住宅市場に起こったことは真性の金融バブルの破裂であることは今や誰の目にも明らかだ。3月に入っても、住宅市場とクレジットマーケットのほとんどすべての指標が事態の悪化が進行中であることを示している。

しかし、今回の事態は「神様」でも予見できないほど唐突だったわけ



ドルの下落は止まらないか
Bloomberg